

のぎく

＊
第130号
令和4年3月31日発行
＊

編集人 機関誌編集委員

発行人

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター内

TEL (078) 242-4644 FAX (078) 242-4069

E-mail:h-ikuseijimukyoku@honey.ocn.ne.jp <http://www.tsunaguiku.sakura.ne.jp/>



関西大学社会安全学部 准教授／近藤 誠司 氏

第65回 兵庫県知的障害者 福祉大会(加西市) 《ハイブリット形式》



目次

理事長あいさつ	2	令和3年度 受章・受賞	6
加西市で第65回兵庫県知的障害者福祉大会を開催して…	3	令和3年度 知事表彰	7
就労支援部会に参加して	3	第17回兵庫県障害者芸術・文化祭【障害者福祉大会】就労表彰	7
学齢・本人活動支援部会 施設・事業所部会開催	4	令和4年度 事業計画	8
障害基礎年金学習会に参加して 参加者のアンケートより…	4	令和4年度 収支予算書	9
親なきあと相談会(三木市)を受講して	5	地域自慢 in 太子町	10
親なきあと相談会(朝来市)を受講して	5	生活サポート総合補償制度	11
『ひょうご健口長寿県民シンポジウム』に参加して	5	(株)大黒商事様から寄附	12
成年後見制度利用促進講座に参加して	6	令和3年度 賛助会員	12
		編集後記	12

アフターコロナに向けて



公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会
理事長 井上 三枝子

新型コロナウイルスが世界中に蔓延し2年が経過し3年目に入りました。昨年の夏ごろからはワクチン接種が始まり功を奏したのか秋ごろには感染者は減少し、収束まであと一步というところでしたが、年明けから第6波をもたらしたオミクロン株が急激に流行し始め記録的な新規感染者数を続けることになりました。症状は以前のデルタ株などに比べて軽症とは言われますが、それでも学校や事業所に感染者が出れば自宅待機となりたちまち活動が制限されます。3回目のワクチン接種も始まりましたが、いつまでこのような緊張した生活を続けるのか、早く安心した毎日を過ごせる様、コロナの収束を願うばかりです。

このような中、県育成会では、当初からオンラインによる情報発信に取り組んできました。研修会に当日オンラインで参加、また後日録画したものをYouTube配信という2本立てをとっています。新しい試みとして昨年11月の加西市での県福祉大会は各地をオンラインでつなぎ式典や講演会の様子をリアルに皆さんと共有するハイブリット方式で行うことができました。

このようなインターネットを利用するには、Wi-Fi環境や機器の整備が必須です。今回、この整備費用の一部をサポート協会様から補助をいただいたことで活動に弾みがつきました。有難うございました。これからもオンラインを活用して会の活性化につなげたいと思っていますので引き続きよろしく願いいたします。

さて、コロナが収束したら何をやってみたいですか？何が楽しみですか？県の活動としては、キッザニア甲子園が2年連続中止になっていることもあり、ぜひキッザニア甲子園での職業体験を再開することや地区会長懇談会では画面越しではなく実際にお会いしたいと思っています。

また、旅行が好きな方も多いと思いますが、障害のある子どもと行くと宿泊先の職員の対応や周りのお客さんへの遠慮があり余計疲れてしまう、せっかくの温泉に入れない等、行きたいけど行けないという声を聞きます。一方、身体に不安がある方は、宿泊先がバリアフリーになっているか、お手伝いをしてもらえるのかという不安もあります。そんな心配や不安を払拭すべく、今回兵庫県が「ユニバーサルツーリズム」について検討する会を立ち上げました。「ユニバーサルツーリズム」とは、高齢や障害等の有無に関わらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行のことで、兵庫県は行きたいところへ行ける観光県を目指しています。

検討会では、高齢者・障害者団体や旅行会社、旅館ホテル組合、バス会社などの代表が集まって活発に意見を出し合い仕組みづくりを検討しています。子どもの成長や思い出作りには楽しい体験がかかせません。誰もが遠慮せず、安心して楽しめる旅行が実現できるようになるまで、今しばらくお待ちください。

加西市で第65回兵庫県知的障害者福祉大会を開催して

NPO法人加西市手をつなぐ育成会 理事長 野田 英紀

今回の福祉大会は、長い兵庫県知的障害者福祉大会の歴史のなかで初めて、インターネットを使ったハイブリッド方式だったので、上手く出来るのか少し不安でした。

幸い加西市は、2年前に施設の耐震工事を行う時にネット環境もリニューアルされていたので、ネット環境には、問題ありませんでした。

今回の福祉大会で、困難だったのは、Zoomの接続でした。

各地区のネット環境にばらつきがありZoomへの接続に苦戦しました。

今後は、Zoom無しで、後日YouTube動画を発信で見ると問題ないと思います。

今回のような兵庫県知的障害者福祉大会だと、いつもは参加できなかった人でも参加出来るしコンパクトなので、大きなホールが必要無いので、何処の地域でも兵庫県知的障害者福祉大会を開催できます。少し残念なのは、対面での会話が、出来ない事です。

コロナが終息しましたら以前のような福祉大会の開催ができる事を願います。もっとインターネットを活用してよりよい育成会活動を目指しましょう。

第65回兵庫県知的障害者福祉大会無事に開催出来て良かったです。



就労支援部会に参加して

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会

就労支援部会 部会長 立花 典子

2021年12月8日 阪神南障害者就業・生活支援センター田中邦子氏を招いての講演会に参加しました。

知的障害を持った若い人たちの高校卒業後の進路・卒業までにやっておくこと・自主性の大切さ、また、知的障害を持った高齢の人たちの老後の迎え方について、事例を交えて解りやすく話していただきました。若い人たちの高校卒業後の進路・生活、高齢の人たちの老後共に大切なことは、周囲の理解が不可欠であること、様々な地域資源を整理・活用することが重要であることを聞き、地域とのコミュニケーションの大切さを痛感しました。育成会活動が、その一助を担っていかなければならないのではと思います。



学齢・本人活動支援部会 施設・事業所部会開催

学齢・本人活動支援部会をハイブリッド形式で実施して

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 学齢・本人活動支援部会 部会長 鳥居 祐紀

1月20日に木村泰子先生をオンラインでお迎えし「いつもいっしょがあたりまえ」と題してお話を伺いました。開催にあたり、私の「真の共生社会を目指すには、幼いころから障害のある子もない子とともに学びあう場と時間が不可欠だ」との強い思いから、木村先生にお願いしようと考えました。一番印象に残っているのは、「差別の心は誰にでもあるが、だが人を排除してはならない」という言葉です。人間誰も好き嫌いがあり、すべての人と仲良くはなれません。だからこそ大人が、人と人との関係を調整する力をお手本を見せながら育てていかねばならないのだ、という思いを新たにしました。あらためて背筋がまっすぐに伸びるような講演会でした。



障害のある方の様々な暮らし方の講演をリモートで受講して

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 施設・事業所部会 部会長 今北 さゆり

令和4年2月21日(月)「障害のある方の様々な暮らし方～(福)西陣会ネイバーフッドきたまちの取り組み～」と題して、社会福祉法人西陣会事務局長宮崎一弥氏にご講演いただきました。「障害特性から従来の



グループホームでの共同生活が困難な方がどうしたら一人暮らしが出来るか」を考え、夜間の見守り付きワンルームマンション「ネイバーフッドきたまち」が開設されました。西陣会では、障害者のシェアハウスも運営されています。従来の形にとらわれず、障害の状況に応じて本人に適した住まい選択ができるよう、色々な暮らしの形が広がってほしいと思いました。



障害基礎年金学習会に参加して 参加者のアンケートより

氷上特別支援学校

- まだ先のことかな！？と思いつつ、いい機会なので参加させていただきました。障害基礎年金を適正に受給するためには、年金請求を適正にして、医師の診断書も事実と異なっていないか、しっかりと提出前に確認(コピーしておくなど)しておく必要があるとしました。

いなみ野特別支援学校

- 20歳からの制度だが、周囲の支援者がよく理解し、事前の準備が必要であることがよくわかった。知らなければ申請が出来ないので、このような勉強会はとてもうれしい。いざという時に慌てないようにしていきたい。

赤穂特別支援学校

- 何も知らなかったもので、本当によくきかないとわからないと思いました。まだわからないところもあるので協力してもらったり、またきこうと思いました。育成会さんなどに・・・ですが聞いておいてよかったです。家でも何度でも読んでみます。良い機会をありがとうございます。不安がかなり少なくなってよかったです。先生の話も聞きやすく1時間半があつという間でした。今日はありがとうございました。親子でがんばります。また色々教えてください。参加します。

和田山特別支援学校

- 将来子ども自身が生活していくうえで基礎年金制度について説明もわりやすい勉強になりました。肢体不自由児で身体1級療育Aを持っていますが申請しないと障害基礎年金はもらえないのですか?申請する時は知的と同様、診断書・申立書が必要になるのでしょうか?



親なきあと相談会(三木市)を受講して

特定非営利活動法人 三木市手をつなぐ育成会 副理事長 齊藤 好美

11月17日(水)教育センターにて、弁護士の福島先生による「親なきあとの準備(財産管理)について」の講演、その後個別相談がありました。

最初に、なぜ財産管理が必要なのか

『自分の資産を維持し守る』 我家に資産はないから…と思っていたのですが、知人や親族関係にリスクがある。この言葉に親の死後、10年20年と関係が現状通りでないことは容易に考えられる

このことばは衝撃でした。

また、元気がなくなった時に適切な判断ができるのかと問われ、親が判断できなくなる時は死ぬより早く来るのが現代。親自身に財産管理が必要になった時の備えも必要なことも気づきました。家族で話し合い、今回の情報を共有できることは大事だと感じました。準備をしておかないことは、残された家族の負担になる。何もしなかったことと同じだと思えました。

成年後見制度に必要な費用についてもわかりやすく教えていただき、備えておく必要を感じました。

相談でありました、きょうだいについては、在宅の生活を支えるのは支援者の方たちによるプロジェクト
問題発見 → 相談 → 実行 → 解決

問題発見の次の相談時に、つい足踏みをしてしまうことがありますが、それをしないようスムーズに行えるように支援者の方たちと関係作りも大切だと改めて思いました。

成年後見制度以外にも財産管理の方法があることを学べたことも大きな収穫でした。

最後になりましたが、貴重な時間を設けていただいた、県育成会には感謝しかありません。ありがとうございました。



親なきあと相談会(朝来市)を受講して

朝来市手をつなぐ育成会 会長 谷川 晃

この度、朝来地区において、県手をつなぐ育成会事業により「親なきあと相談会」を実施して頂きました。弁護士の福島健太氏による講演と個別相談の2部形式で、講演では財産管理の方法として、成年後見制度・日常生活自立支援事業・財産管理契約・信託等の組み合わせで出来る可能な対応と、親としては考えるだけで、



具体的に準備ができていないことに改めて痛感いたしました。後半は四人の方の個別相談をしていただきましたが、概率的には親なきあとの相続、残す必要なお金の相談と聞いています。総評として、参加の皆様から大変好評で、「もっとじっくり聞きたい」「次の機会を設定してほしい」といった意見が大半で、親なきあとの準備が如何に重要であるかを、改めて認識いたしました。最後に、この事業を実施していただいたことに改めて感謝申し上げます。

『ひょうご健口長寿県民シンポジウム』に参加して

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 副理事長 下村 直美

兵庫県歯と口腔の健康づくり推進条例制定(仮称)に向けて、歯と口腔の健康づくり推進部会の委員でもある私は『ひょうご健口長寿県民シンポジウム』のパネリストとして動画配信での発表をさせていただきました。

ある団体の方の「『生きる』ことは『食べること』です。『食べること』にかかせない歯や口の健康を考えると『生きる』ことに繋がります。」という発表がとても印象に残りました。

確かに我が息子は食べるのが大好き！

食欲は本能の1つで、食べたくても、歯や口が健康でないと食べられません。

幼児期からの虫歯予防や歯みがき指導はとても大切です。生涯を通じて切れ目のない歯科検診は歯の健康づくりに必要です。

そのため歯科医院で働く方々に障害特性を理解して対応していただいたり、障害のある人は『困りごと』が多いことから、より丁寧な対応と十分な準備期間を用意してもらい高校卒業後も全ての人が歯科検診や歯みがき指導などを平等に受けられる仕組みがあれば『困りごと』を減らせると思います。皆さんも、歯と口の健康について考えていきませんか？

今回受講されての感想

● 成年後見制度利用促進講座に参加して ●

- 親なきあとだけでなく、自分自身の判断能力が低下していく可能性を考えると、早いうちからの後見制度の利用を考えるべきなのかな、と感じました。いつ自分も認知症を発症するかもしれない、兄弟がいるからなんとかなるのでは？ と浅い考えでいたのですが…。周囲にも後見制度の必要性を広めることは重要であると思いました。ありがとうございました。
- たくさんの事例を交えたお話、ありがとうございました。助永さんの暖かな気持ちがこもった内容でした。
- 資料5からの具体的な事例が興味をひきました。助永さんの人となりが見えていました。現場のエピソードをもっとききたいと思いました。わかりやすいです。各々の困難さがあり、お一人お一人をよく見てどういのか？を考えてくださっている事例でした。支援力があります。その感性があるのですねえ。よい生き方を導き出してくださるよいチームをつくってくださるのだと思いました。制度も何もかも人がどの様にいかすのか、いかされるのか、考えさせられました。力をいただきました。



令和3年度 受章・受賞

おめでとうございます。会員の皆様と共に祝い申し上げます。今後ますますのご活躍をお祈りします。



三木 尚美
(NPO法人 三田市手をつなぐ育成会 理事)

◆ ◆ 障害者更生支援功労者厚生労働大臣表彰
兵庫県功労者表彰



近藤 眞由美
(公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会 副理事長)

◆ ◆ 全国手をつなぐ育成会連合会 会長表彰



小石 信子
小石 監事を囲んで



小石 信子
(公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会 監事)

◆ ◆ 兵庫県社会福祉大会 会長表彰

◆ 令和3年度 知事表彰

氏名	住所	勤務先
松原 優介	尼崎市	株式会社 山久
西上千景	西宮市	株式会社 さかもと食鳥
浅見 一郎	西宮市	ヤマト運輸 株式会社 関西ゲートウェイベース
岡野 武弥	宝塚市	ヤマト運輸 株式会社 兵庫主管支店 兵庫ベース店
伊井 貴文	加古郡稲美町	綿久リネン 株式会社
喜多山 公雄	加古川市	株式会社 カネカ 高砂工業所
久保 和志	加古川市	新関西衣料サービス 株式会社
森 将樹	加古川市	株式会社 トーホーストア 加古川ミートセンター
田原 守人	加古川市	株式会社 トーホーストア 加古川ミートセンター
向 規行	加古川市	兵庫トヨタ自動車 株式会社 マイカーランド加古川
黒田 小百合	姫路市	株式会社 安野産業
國 富由紀	姫路市	株式会社 クリシェ
難波 克之	神崎郡福崎町	ショーワグローブ 株式会社

◆ 第17回 兵庫県障害者芸術・文化祭【障害者福祉大会】就労表彰

《20年表彰》

氏名	住所	勤務先
上北 祐子	西宮市	社会福祉法人甲山福祉センター 特別養護老人ホーム甲寿園
永瀬 孝子	西宮市	布亀 株式会社
前田 正幸	伊丹市	日本エアリネン 株式会社
古田 勇介	三田市	日本マクドナルド 株式会社 イオンモール神戸北店
池本 恵	加古川市	日本ハムファクトリー株式会社 兵庫工場

《10年表彰》

氏名	住所	勤務先
岩柿 竣介	西宮市	社会福祉法人 円勝会 ドリーム甲子園
松浦 淳二	三田市	株式会社 モリタホールディングス
豊田 和弥	加東市	株式会社 パソナロジコム 東条事業所
中村 咲子	加古川市	社会福祉法人 鶴林園
北村 大樹	加古川市	加古川中央市民病院
松尾 浩平	小野市	社会福祉法人 逢花 粟生逢花苑

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 令和4年度事業計画

I 基本方針

障害者差別解消法施行後も知的障害者への虐待は後を絶たず、引き続き権利擁護と共生社会の実現を目指し、理解促進のための啓発活動を県下各地で着実に推進していくことが重要である。

一方、会員の高齢化と会員減少という組織的危機を前にして、若い親への加入働きかけや時代に即応した事業推進など、組織の活性化と存続への取組みが急務となっている。

令和4年度は、これらを踏まえ、「知的障害者の権利擁護」を重点目標とし、引き続き疑似体験啓発活動など知的障害者に関する社会啓発事業、障害基礎年金学習会、親なきあと相談など知的障害者の福祉の増進を図るための事業を実施する。

今後とも、県下各地区育成会、全国や近畿の育成会組織と緊密に連携し、活動の質的充実と組織運営の安定化を図っていく。

〔会員数の動向〕

- 令和3年度の会員数は3,628名で、前年度比94名減と想定よりは若干少なかったが減となった。全県的には減少基調にあるものの、10地区は増減がなく、1地区は10名増となっている。
- 加入率(療育手帳所持者数に対する会員数の割合)は、令和2年度は9.0%で、対前年度比0.7ポイントの減となった。

II 主要事業

1 知的障害者に関する研修

(1) 権利擁護委員会活動

権利擁護に関する研修会の開催や先進的施設の調査等を実施するほか、必要に応じ行政・関係団体との連絡調整、行政への要望活動等を行う。

(2) 専門部会活動

「地域生活・高齢化対策」、「就労支援」、「施設・事業所」、「学齢・本人活動支援」の4部会において、特定課題に関する研修会等を開催する。

(3) 障害基礎年金学習会

本人の障害基礎年金の受給漏れ等が出ないよう、特別支援学校において障害基礎年金の申請手続き等に関する学習会を開催する。

(4) 成年後見制度利用促進講座

家族や支援者等が成年後見制度や各種生活支援サービス等について理解を深める講座を開催する。講座日程は従来の4日から2日に短縮して開催する。

(5) 障害児等職業体験事業の実施

職業型テーマパーク「キッサニア甲子園」を借上げ、職業体験事業を実施し、働くことの大切さを学び、未来の夢を育む機会を提供する。

2 知的障害者に関する普及・啓発

(1) 第66回兵庫県知的障害者福祉大会の開催

令和2年度から「新しい時代の育成会活動」について検討を進めている全国手をつなぐ育成会連合会の検討結果について理解を深め、今後の県及び地区育成会それぞれの活動に活かす。

県育成会理事長表彰及び感謝を実施する。

昨年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大防

止を図るため、集合形式と録画をYouTubeで配信する形式とを組み合わせ開催する。

(2) 疑似体験啓発活動の推進(ひょうご“つなぎ隊”)

各地区の疑似体験啓発活動団体の取組みを広く発信するとともに、新たな活動団体の立上げや現活動の充実を支援するため助成等を行う。

3 知的障害者に対する支援

(1) 知的障害者への相談

育成会役員が本人や家族等の様々な悩みや困りごと、直面する課題等について相談に応じる。

(2) 専門家による親なきあと相談

会員の親なきあとの準備を支援するため、重要課題のひとつである「財産管理の仕方」(信託、遺言、成年後見、相続等)についての相談を専門家(弁護士)が地域に出向いて行う。

(3) 地域生活援助者養成講座の開催

知的障害者がグループホーム等で安心して生活できるよう、グループホーム支援員等のスキルアップのための一連の講座を開催する。

4 育成会の組織運営

(1) 全国・近畿育成会との連携

全国手をつなぐ育成会連合会や近畿手をつなぐ育成会連絡協議会の活動に積極的に参画し、そのノウハウや最新情報等を本会活動に活かす。

(2) 会長会等の開催

会長会や地区会長懇談会等を開催し、会員ニーズの把握、地域課題の発掘と共有化を図り、課題解決に向けた効果的な事業推進につなげる。

(3) 兵庫県等への要望

制度政策を通じた障害福祉サービス等の一層の充実に向け、兵庫県や国に対し予算要望を行う。

5 育成会改革プランの推進

本会が直面する組織的課題(会員の高齢化、会員減少等)に対応するために策定した、「育成会改革プラン」(平成30年3月)を着実に推進し、組織の存続と安定化を図る。

III 具体的な事業内容

1 公益目的事業

(1) 知的障害者に関する研修

〔県育成会〕

- ① 権利擁護委員会活動(権利擁護に関する研修、連絡会議等)
- ② 知的障害者相談員研修会
- ③ 専門部会活動
 - ア 地域生活・高齢化対策部会
 - イ 就労支援部会
 - ウ 施設・事業所部会
 - エ 学齢・本人活動支援部会
- ④ 障害基礎年金学習会 特別支援学校 4校
- ⑤ 成年後見制度利用促進講座 1箇所・2日間
- ⑥ 障害児等職業体験事業
キッサニア甲子園(西宮市)
- ⑦ ブロック別保護者研修会 県下9ブロック
- ⑧ 社会参加支援事業 県下9ブロック

〔全国手をつなぐ育成会連合会〕

- ①全国大会 令和4年11月20日(日) 福井県
- ②全国育成会連合会・権利擁護セミナー
- ③全国事業所協議会研修大会

〔近畿手をつなぐ育成会連絡協議会〕

- ①第61回近畿知的障害者福祉大会 令和4年10月23日(日) 奈良県
- ②近畿リーダー養成研修会 令和5年1月～3月の間で 大阪市

〔各種大会〕

- ①福祉の集い
- ②賀詞交換会
- ③兵庫県社会福祉大会 令和4年10月27日(木) 養父市

(2)知的障害者に関する普及・啓発

- ①第66回兵庫県知的障害者福祉大会 令和4年10月21日(金) 猪名川町中央公民館視聴覚ホール ※県大会の開催状況を録画し、YouTubeで後日配信する。

②疑似体験啓発活動の推進

〔活動団体 11団体〕

- 尼崎市「まんまるはーと」
- 西宮市「輪・和・WA」
- 伊丹市「ぱずる」
- 宝塚市「宝塚すみれ隊」
- 川西市「ハンドinハンド」
- 三田市「はぁ～とポケット」
- 猪名川町「いなキャラ」
- 明石地区「まねっこ隊」
- たつの市「ぴーす&ピース」
- 南あわじ市「おひさま隊」
- 多可町「ぐーちょきぱー」

- ③第16回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 令和4年4月30日(土)～6月4日(土)
 - ④兵庫県障害者芸術・文化祭(兵庫県障害者福祉大会) 【舞台部門】たつの市 【作品展】「兵庫県立美術館」(神戸市)
 - ⑤知的障害者就労表彰(理事長表彰、知事表彰) 一般企業等で10年以上又は20年以上就労された方への表彰
 - ⑥機関誌「のぎく」の発行 年2回
- (3)知的障害者に対する支援
- ①知的障害者への相談
 - ②専門家による親なきあと相談 2地区
 - ③地域生活援助者養成講座
 - ④在宅重度障害者生活環境改善資金貸付事業 100万円以内 無利子

2 収益事業

- (1)全国育成会連合会・機関誌「手をつなぐ」助成金の地区還付
- (2)「心のとも運動」還元金の地区還付
- (3)国庫補助事業助成事務

3 育成会の組織運営

- (1)評議員会の開催 年2回(定例)
- (2)理事会の開催 年3回(定例)
- (3)三役会の開催 月1回
- (4)会長会の開催 年2回
- (5)地区会長懇談会の開催 県下各ブロック
- (6)専門部会役員会の開催
- (7)兵庫県等への予算要望

4 育成会改革プランの推進

令和4年度収支予算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

(単位:円)

科 目		合 計	事業会計
I	経常収益		
	基本財産運用益	67,400	67,400
	特定資産運用益	77,600	77,600
	受取会費	7,976,000	7,976,000
	賛助会費	700,000	700,000
	事業収益	2,550,000	2,550,000
	受取補助金等	14,120,000	14,120,000
	受取負担金	1,044,000	1,044,000
	受取寄付金	0	0
	雑収	491,200	491,200
	経常収益計	27,026,200	27,026,200
II	経常費用		
	事業費用	24,764,851	24,764,851
	管理費用	2,261,349	2,261,349
	経常費用計	27,026,200	27,026,200
	当期一般正味財産増減額	0	0
	一般正味財産期首残高	6,198,439	6,198,439
	一般正味財産期末残高	6,198,439	6,198,439

地域自慢 in 太子町

太子町手をつなぐ育成会
会長 内海 育子

太子町は兵庫県の南西部、姫路市とたつの市の間に位置し、人口約3万4千人の小さな町です。聖徳太子や旧山陽道などにまつわる文化財が残る、歴史ある土地。穏やかな瀬戸内気候・緑豊かな自然。町内で生活に必要なお店がそろい、姫路市や阪神地区へのアクセスも良い便利さ。歴史・自然・生活が調和する良好な住環境から国勢調査では兵庫県下で年少人口率の割合が高い若い町となりました。

太子町には斑鳩寺があり、聖徳太子の開基の天台宗寺院です。法隆寺の荘園「鶴荘」の中核的存在であり、古くから「お太子さん」として広く信仰を集めています。2022年、「聖徳太子没後1400年」を迎えました。4月2日は三重塔をブルーにする活動をしています。

他には宮本武蔵生誕の地碑もあります。宝暦12年に書かれた『播磨鑑』には宮本武蔵が太子町宮本村で生まれたと記載があり、晩年の武蔵が記した『五輪事』には「生国播磨の武士…」と記されています。

太子山公園には今はD51が保存され、人々の憩いの場所となっていますが、明治42年から昭和9年までの25年間播電経営の太子山遊園地がありました。当時としては西播磨地方随一のレジャーランドでした。山頂には聖徳太子の立像があり、360度のパノラマで太子町を見渡すことができます。

太子町手をつなぐ育成会としてはこれからも町主催の防災訓練や芸術祭などに参加し「手をつなぐ育成会って聞いたことがある」と地域とのお付き合いを大切にしながら活動していきたいと思えます。

今回、町内を散策する事で史跡が多く、伝統行事がたくさん残る太子町を見直すきっかけになりました。みなさんも一度のんびり太子町を史跡めぐりしてみませんか。



斑鳩寺 三重塔



4/2 light it up blue



聖徳太子2歳像



D51



太子山公園



播州鑑
宮本武蔵揖東郡鶴ノ庄宮本村ノ産ナリ、若年ヨリ兵術ヲ好ミ諸国ヲ修行シ、天下ニカクレナク則武蔵流ト伝テ諸士ニ門人



宮本武蔵生誕の地

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償
※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金
※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償
※プランによって補償します

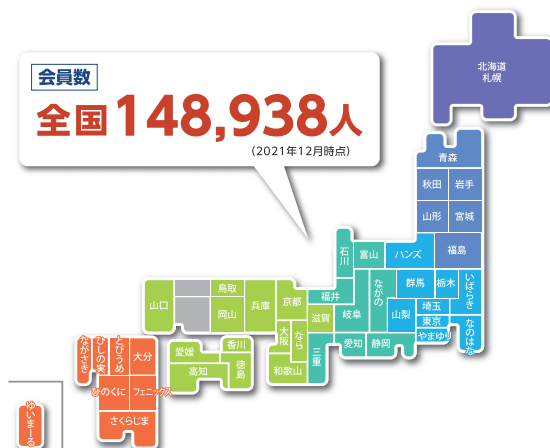
※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

生活サポート総合補償制度の主な特長

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約149,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
ジェアイシーウエスト株式会社
〒540-0026 大阪市中央区内本町1-1-1 OCT 7階
TEL: 06-6941-5187 FAX: 06-6944-1728
https://jicwest.com/
受付時間: 午前10時～午後4時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
大阪プロチャネル営業部
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 36階
TEL: 06-7223-2010
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会
連絡先はTEL又はホームページにてご確認ください。
TEL: 03-5577-6351 http://www.zensapo.jp
加入窓口は全国の全国知的障害児者生活サポート協会傘下の
各都道府県団体の事務局となります。

大黒商事様から寄附

令和3年10月4日、株式会社大黒商事様から知的障害のある人への支援として金15万円のご寄附をいただきました。大黒商事様には平成21年から毎年コピー機の売上金の一部を寄附していただいています。会社を挙げた温かいご支援に心より感謝申し上げます。



令和3年度 賛助会員

(順不同)

賛助会員	所在地	賛助会員	所在地	賛助会員	所在地
井上三枝子	尼崎市	神沢クリニック	三木市	村上 友江	明石市
大前 繁雄	西宮市	まねき食品(株)	姫路市	吉田 裕明	神戸市
野村医院	芦屋市	澁川 壽彦	相生市	あい保育園	神戸市
久米利津子	芦屋市	田淵 聡子	たつの市	妹尾 昭吾	神戸市
大野セツ子	宝塚市	前田 智子	赤穂市	匿名	神戸市
上坂 秀昭	川西市	合橋診療所	豊岡市	松岡 謙二	神戸市
坂本 寿子	川西市	田野 哲夫	美方郡	ジェイアイシーウエスト(株)	大阪市
(株)丹波屋	三田市	谷本 靖子	明石市	根来 厚子	京都市
(株)丸優	三田市	廣橋 岳登	明石市	ちえの友鉛筆(株)	東京都
神沢医院	三木市	ミナト歯科医院	明石市		

編集後記 自身の新年早々の発熱、全国でのオミクロン株の急速な感染の報道…かなり焦りました。1番に頭を過ぎったのはたくさんの方へ伝染したのではないかと申し訳ない気持ちと自責の念…日頃の行いが良いのか?日頃の手洗いが功を奏したのかPCR検査陰性の知らせ。ただ、自分だけは感染しないみたいな何の根拠もない自信が見事に打ち砕かれたのは間違いない。自分だけはなんて有り得ない。(NS)